石狩浜海浜植物保護センター
観察園便り 2017

発行：石狩浜海浜植物保護センター
（事業受託団体 NPO法人いしかり海辺ファンクラブ）
●開館期間 4/29～11/3 ●開館時間 9:00～17:00
●毎火曜定休（祝日の場合翌日休）
●〒061-3372 石狩市弁天町48-1 ●TEL：0133-60-6107
●E-mail iufc.office@gmail.com
●HP http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kaihinsyokubutu/

石狩浜海浜植物保護センター観察園は、石狩浜に生育する植物を集めた植物園です。遊歩道に沿ってたくさんの種類の植物が植えられており、海浜植物をまとめて間近に親しめます。

コウボウムギの雌株のイガイガが茶色に変化。奥の種子はすでに熟しています。

二度目の開花のハマエンドウ。雨上がりに元気よく咲いています。

ハマニガナ。葉っぱに雨粒がレンズのように光っています。

シロヨモギの花が開花しています。このあと黄色から茶変します。

イソスミレは閉鎖花で自家受粉して実を成長させます。

ハマボウフウは実が成長してコルク質の外殻が形成されています。

ヤナギタンポポの黄色い残り花が鮮やかです。

ハマハタザオの新しい葉が冬に向けて成長。

オカヒジキはまるまるとした茶色の実が目立ってきました。

ノコギリソウの残り花。葉もギザギザで元気です。

まだ園内の片隅でエゾノヨモギギクが咲いています。

カシワの丸いドングリが、大きくなってきました。

園内あちこちに艶やかなエゾカワラナデシコの残り花がみられます。

カセンソウはわずかですが、まだ開花がみられます。

ヤマブドウの実がなりました。今年は数も多いようです。

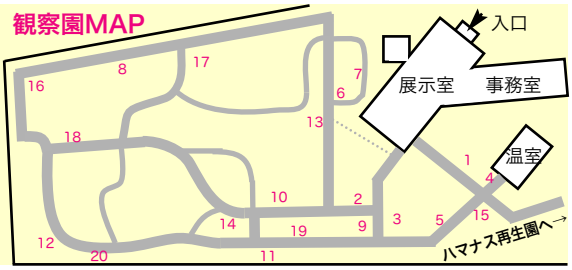
ハマナスは僅かに開花もあり、真っ赤な実と美しさを競います。

ツルウメモドキの実。早くも果皮が割れ、朱色の仮種皮が見えます。

鮮やかな黄色のコガネギクは今年、園内の広い範囲に見られます。

ヒメイズイの実が熟して色が濃くなってきました。

ヒロハクサフジはほとんど花が終わりサヤが成長しています。



はまなすの丘公園2017
9月の観察記録ダイジェスト

写真提供
石狩浜定期観察の会

※「石狩浜定期観察の会」は石狩浜海浜植物保護センターとの協働により、はまなすの丘公園の自然観察記録を４月から10月までほぼ２週間ごとに行っている市民ボランティアグループです。

●2017.9.6　秋空の下　命躍動

1

オニハマダイコン（アブラナ科）
砂浜に群落をたくさん作っています

2

サワギキョウ（キキョウ科）
花が終わり実が大きくなってきました

3

ハマニガナ（キク科）
光を浴びて元気そうです

4

ハマボウフウ（セリ科）
実にアカスジカメムシが何匹？

5

ネジバナ（ラン科）
実が熟し粉のようなタネができています

6

オギ（イネ科）
花穂が銀色に輝いています

7

ウンラン（オオバコ科）
満開の大群落です

8

ススキと灯台
お化粧直しした灯台がススキの原に映えます

9

ミヤマアキノキリンソウ（キク科）
黄色の花をにぎやかにつけています

10

ハマナス（バラ科）
実が赤く熟し葉が紅葉してきました

11

コマユミ（ニシキギ科）
実がだんだん赤くなってきました

12

ヒメクグ（カヤツリグサ科）
低地の湿った所を好みます

13

つなぎトンボ
アキアカネとノシメトンボのペアです

14

オオソリハシシギ
くちばしが長く上にそっています

15

オオセグロカモメ
幼鳥が魚をついばんでいます

●2017.9.20　台風一過　浜は秋空

1

ハマナス　（バラ科）
赤く色づいた実が秋色の公園を彩ります

2

ハマボウフウ（セリ科）
コルク質の実がぎっしりつきました

3

ハマエンドウ（マメ科）
二度咲きの花が生き生きと咲いています

4

コケの仲間
湿地にビッシリと生えていました

5

ユウゼンギク（キク科）
エゾスジグロシロチョウ？が休んでいました

6

ツルウメモドキ（ニシキギ科）
実が黄色に色づきました

7

ハマハナヤスリ
草丈は5cm弱。胞子を飛ばしたあとです

8

アキグミ（グミ科）
実が赤く色づいてきました

9

ススキ（イネ科）
灯台の周りを飾っています

10

ウンラン（オオバコ科）
実が次々とたくさんつきました

11

ウネミケシボウズタケ
頭頂の穴が開き胞子が出ます

12

モンキチョウ
蜜を求めてユウゼンギクに飛んできました

13

モクメシャチホコ
ガの幼虫でシャチホコに似ています

14

ハネナガキリギリス ♂
ススキにとまって鳴いていました

15

エゾビタキ
渡り鳥。やがて南へ旅立ちます